

答申書（案）に対する意見等について
（第 4 回審議会における主な意見等のまとめ）

（事務局における軽微な文言修正等は省略。）

頁番号等	修正前（第 4 回時の記載）	修正後	修正理由・意見	意見者等
P 3 - 2 - (1)	巻広域地区におけるプラスチック製容器包装のモデル収集の取り組みについては、今後も分別についての理解が広まるよう推進していくことを期待する。	巻広域地区におけるプラスチック製容器包装のモデル収集の取り組みが <u>進んでいることは、地区住民の再資源化への理解が広がっている</u> と認識し、 <u>その努力を評価する。</u> 今後、この取り組み成果等を踏まえ、 <u>早期に分別統一が達成できるよう、より一層の住民理解の促進に努めるべきである。</u>	現計画を策定する際の審議会においても、巻広域地区の分別は3年で統一するという答申だったため、昨今の巻地区でのプラ分別の状況を踏まえ、分別制度統一に向けた取り組みを促進するよう表現を強める必要がある。	菅原委員、 熊田委員
P 4 - 2 - (2) -	また、3Rの一つとしてリサイクルも可能な限り進めるべきであり、今後新しいリサイクル技術の進展や社会状況の変化があった場合は、現在ある品目以外の新たなリサイクルについて拠点回収等による実施を検討していくべきと考える。	また、3Rの一つとしてリサイクルも可能な限り進めるべきであり、 <u>近年注目を浴びている使用済み小型家電製品からのレアメタルの回収をはじめ、今後、新しいリサイクル技術の進展や社会状況の変化が生じた際には、拠点回収等による新たなリサイクルルートの構築を検討していくべきと考える。</u>	近年小型家電製品からのレアメタル回収が注目されており、法制化の動きも具体化しているため、答申においてもより具体的に記載することが適当。	事務局
P 4 - 2 - (2) -	収集が月 1 回や月 2 回の品目があり、高齢者にとって分かりにくく	収集が月 1 回や月 2 回の品目があり、 <u>特に高齢者や単身世帯等にとって分かりにくく</u>	分別制度が分かりにくいという意見は高齢者のみならず、単身世帯等においても聞かれる意見であるため。	熊田委員

頁番号等	修正前（第4回時の記載）	修正後	修正理由・意見	意見者等
P 4 - 2 - (2) -	(追記)	<u>また、その際は分別ルールを十分理解していない層も取り組めるよう工夫し、粘り強くルールの周知徹底に努めていくことを求める。</u>	他都市からの転入者をはじめとした、分別制度を十分理解していない層に対する周知に係る記載が抜けているため、記載した方がよい。	熊田委員
P 4 - 2 - (2) -	イベント等と連携した多用な年齢層への環境教育	<u>地域の催し等と連携した幅広い年齢層への環境教育</u>	「イベント等と連携した」という表現が日本語の言い回しとして適当でない。また、「多様な年齢層」よりは「幅広い年齢層」の方が表現として適当。	菅原委員、事務局
P 4 - 2 - (2) -	地域の祭りやイベントでのリユース食器利用を通じた啓発や、施設見学と同等の学習が気軽にできる環境整備などを検討すべきである。	<u>ごみ処理に関する理解を深めるためには処理施設を実際に見学することが有効な手段と考える。この他、地域の祭りや行事でのリユース食器の利用を通じた啓発活動や、施設見学と同等の効果が期待できる資源化処理工程の映像化などをより具体的に検討すべきである。</u>	ごみ処理に関する理解促進のためには施設見学を行うことが有効であり、また、環境教育をどのように行うのか意味が十分とれないという意見を踏まえ、この部分を強く打ち出すためにもより具体化して表現することが適当。	坂田委員、椎谷委員、山下委員
P 4 - 2 - (2) -	(追記)	<u>また、現計画で創設された市民還元事業のひとつである地域活動補助金について、引き続きこの制度を活用した地域独自の環境活動や環境を意識した行事などがより頻繁に行われるよう、地域活動を後押ししていくことも重要である。</u>	環境関連の団体以外でも地域活動補助金を活用し、環境に関する行事を行うようになってきており、引き続きこのような活動を推進する表現を盛り込むことが適当。	椎谷委員

頁番号等	修正前（第4回時の記載）	修正後	修正理由・意見	意見者等
P 5 - 2 - (2) -	環境問題に関心の低い層をはじめ、市民の意識啓発が重要である。	（削除）市民が環境問題に関心を持てるような意識啓発が重要である。	環境問題に関心の低い層に対する啓発の強化は、あまり結果が出にくいと考えられるため、関心の高い層をより広げた方が良いと考えられる。	橋本委員
P 5 - 3 -	効果的な制度の周知手法の検討	制度の効果的な周知手法の検討	「効果的」に修飾される述語は「周知手法」と考えられる。	山下委員
P 5 - 3 -	排出事業者に対しごみ減量の動機付けとなるような社会的評価は大変重要である。	企業の社会的責任に注目が集まるなか、排出事業者に対しごみ減量の動機付けとなるような社会的評価は大変重要である。	企業の社会的責任の重要性が増しているため、これを記載した上で、社会的評価とした方が適当。	藤井委員
P 5 - 3 -	また、ごみ減量・資源化がコスト的にも有利となる方法があるのであれば、それを排出事業者に提案していくことも重要である。	また、ごみ減量・資源化を推進することでコスト面でもメリットが生まれる方法を排出事業者に提案していくことも重要である。	「有利となる方法があるのであれば」という仮定的な表現より、「方法を～提案する」と言い切った方が表現として適切。	藤井委員
P 6 - 3 -	食品加工業から排出される食品廃棄物や廃プラスチックなどの産業廃棄物が混入している。	食品製造業等から排出される動植物性残渣（主として食品廃棄物）や廃プラスチックなどの産業廃棄物が混入している場合がある。	廃棄物処理法上の産業廃棄物の規定に沿うよう修正。	事務局
P 6 - 3 -	排出事業者が本来の処理費用を負担し、ごみの減量意識を高めってもらうために、産業廃棄物の搬入を規制し、排出事業者の処理責任を追及すべきと考える。	今後、排出事業者のごみ減量化に対する意識の向上を図るため、事業者において産業廃棄物と一般廃棄物をきちんと区分して処理するよう指導・啓発するとともに、市の施設における産業廃棄物の混入防止対策を強化する必要があると考える。	市の処理施設においては、一般廃棄物と産業廃棄物が混在して搬入されており、産業廃棄物の搬入規制の強化とともに、排出事業者に対する産業廃棄物と一般廃棄物の区分の厳格化を指導していくことも重要と考えられる。	事務局

頁番号等	修正前（第4回時の記載）	修正後	修正理由・意見	意見者等
P 6 - 4 - (1)	(追記)	<u>災害時のトイレ対策においては、高齢者や障がい者のみならず、乳幼児等にも配慮した対策を講じることにより、災害時要援護者全般に対するきめ細かな対応が可能となるよう体制整備を進めることが重要である。</u>	災害時のトイレ対策においては、過去の事例からも子どもや乳幼児への配慮が不足している部分があるため、乳幼児等への対応も強調する必要がある。	椎谷委員
P 6 - 4 - (1)	(追記)	<u>今後災害廃棄物対策やトイレ対策を見直す際には、市の組織全体で連携をとり、真に実効性が確保された体制が整備されることを期待する。</u>	防災計画全般を統括している部門と分野別の対策を立てている原課との連携を密にし、縦割りに陥らないよう体制整備を進める必要がある。	小松委員
P 6 - 4 - (2)	(追記)	<u>統廃合を実施するにあたっては、市民の利便性を確保していくことを優先しつつ進めていくことが重要である。</u>	市民がごみを減らした努力によって、逆に市民の利便性が落ちることがないように、施設の稼働率とごみ減量施策がパラレルにならないよう留意する必要がある。	藤井委員
P 6 - 4 - (2)	(追記)	<u>収集運搬体制については、新たな処理体制の整備と併せ、低炭素社会の形成にも資するよう、焼却を休止した施設を中継施設化し、施設間の運搬の効率化を図ることなどにより、できるだけCO₂の排出が抑制されるよう期待する。</u>	施設統廃合に伴い収集運搬距離が伸び、CO ₂ の排出量が増加しないよう考慮する必要がある。また、搬入する車両が増加する他の施設の周辺住民に対する影響も考慮し、収集運搬の効率化を図る必要がある。	菅原委員 山下委員